

第45号

酪農

とちぎ



盛夏

梅雨明けが例年より遅れ、農作物の発育が心配されています。平野部の作柄は、平年並みの収量が見込まれています。山間部は昨年同様、日照不足の影響が災いし平年を下回ることが心配されております。購入飼料の価格高騰に対応するため自給飼料の生産に力を入れている方々は、今後の作柄について心配されていると思います。天候の回復とともに収穫量の増加に期待するところでは。

組合では、飼料の高騰に対応すべく配合・粗飼料利用奨励金等の先払いにより、経営安定に寄与して参ります。また、自給飼料の増産に向けた事業を推進して参ります。



酪農とちぎ第六回通常総代会

県央地域の合理化、遊休資産の活用

第六回通常総代会を六月二十八日、高根沢町民ホールに総代百三十六名の出席のもと開催し、全議案とも原案通り可決承認されました。

当日は定刻午前十二時に定足数を満たし、菊池副組合長が開会を宣しました。後に前田組合長が挨拶を行い、十八年度の計画生産に於いて、急遽減産型に変更しなけ

ればならなかった経緯等を述べ、

組合員の協力を頂き関東生乳販連の枠内に収める事が出来たことに對し感謝を述べました。また、WTO農業交渉・EPA交渉についての乳製品の除外要請に触れ、将来の酪農経営が安心して営むことが出来るよう継続的に運動を行うことを確認しました。さらに、平成二十年四月より関東生乳販連の統一乳価テーブルで乳代を支払うことが決定し、会員の平等性を図り、CSの統廃合・集送乳合理化など経費の節減と有利販売に繋がることを述べました。組合事業については県央地域の拠点整備を行い、ふれあい牧場に宇都宮支所を移転し、烏山事業所を統合するなど合理化を進める事などを含め、六年度の経過・七年度の事業方針について報告し、関係機関・組合員の理解と協力をお願いしました。続いて、野中英夫農務部長(代

議)から祝辞を頂き、議長団には高山完治氏(上三川町)八木沢忠夫氏(那須塩原市)が選任され、第一号議案から第八号議案まで長時間に渡り慎重に議事を進行して頂きました。

第一号議案では、執行部より、六年度事業実績の内容について詳細な説明を行い、第二号、第五号議案、定款の一部変更について、第六号議案栃木県信用農業協同組合連合会からの脱会はそのぞれ可決され、第七号議案、事業計画については、昨年同様の自給情勢から生乳計画生産の必要性について説明を行い理解と協力をお願いすると共に、飼料価格の高騰に対応するため供給価格の低減に努め、指導事業の充実・県央地域の施設合理化・遊休資産の活用・診療事業と牧場事業については、効果的な事業展開を進める事などを説明し、可決されました。また、理事・監事報酬(第八号議案)も原案通り可決されました。次に、WTO及び日豪EPA交渉に関する特別決議を行い、農畜産物の除外要請を行うなど、組織の総力を挙げ

た運動を展開して行くことを確認しました。その後、相馬副組合長が閉会を宣し散会致しました。

当日の出席状況
定数 百九十名 本人出席百三



議長団の八木沢忠夫氏(左)・高山完治氏(右)



組合長挨拶



ご意見ご要望



平成18年度乳質共励会表彰名簿

表彰区分	支所名	組合員名	県表彰	連続賞
最優秀賞	那須高原支所	小針秀夫	知事賞	5年連続
	宇都宮支所	松井実久	知事賞	2年連続
	〃	駒場久	知事賞	
優秀賞	県南支所	加藤俊雄	知事賞	2年連続
	那須高原支所	穴戸俊樹		4年連続
	〃	松本美幸		
	〃	前田宏子		4年連続
	〃	小林陽子		5年連続
	〃	森義一		
	宇都宮支所	黒羽源治		
	県南支所	大瀧信夫		
	宇都宮支所	大羽栄		
	県南支所	(有)JETファーム		
	那須高原支所	人見菊一		
優良賞	〃	加藤拓央		2年連続
	宇都宮支所	榎山正人		
	県南支所	三柴秀夫		
	那須高原支所	猪瀬良一		
	〃	中村信		
	〃	安田守		
	〃	要田康久		
	宇都宮支所	手塚薫		
	県南支所	石川市郎		
	〃	伊沢磨		
	那須高原支所	上野幹男		
	〃	伊藤謙幸		
	〃	久保幸雄		
	宇都宮支所	小口誠一		
	〃	小椋嘉英		
	〃	福山一修		
	〃	山本幸一		
	県南支所	川上悦郎		
	那須高原支所	川見昭優		
	〃	皆川栄		
	〃	佐藤英夫		
	〃	和田次治		
	宇都宮支所	須藤建秀		
	〃	岡本秀治		

*表彰区分毎・支所別に順位。また、同点の場合は順不同

十六名、書面議決三十三名

主な質疑、意見要望等

職員数について

栃木県酪産承継後の承継事業の

収支について

監事の役割について

飼料価格高騰の対応について

乳価低迷の対応について

牛乳消費低迷の対応について

理事・監事の報酬について

有償枠について

学乳向け牛乳の容量増について

また席上、乳質共励会の表彰が

行われ、組合表彰・県表彰等の各

受賞者に、日頃の乳質向上に対す

る努力を賞しました。

支所別説明会

六月中旬、支所別説明会を三会場で開催しました。

本組合は総代制を採用しておりますので支所別説明会を開催し、全組合員に十八年度事業実績及び十九年度事業計画についてご報告し、皆様からご要望ご意見等を頂き、今後の事業展開の参考とさせていただきます。そのため毎年実施しております。また、十九年度も生産調整を実施する状況について、その経緯と今後の対応、飼料価格高騰に対する組合での対応等について報告致しました。

主な質疑、ご意見を次にまとめました。

主な質疑ご意見等

那須高原支所

法人税・住民税について
配当金について
組合の流動比率について
今後の職員数について

宇都宮支所

集送乳経費及び管理費について
平成十八年度計画生産について
販売量予測方法について
ペナルティ額の使途について
駄牛淘汰事業について
平成十九年度計画生産について
四～五月の出荷実績について
生産枠見直しについて
動態調査の活用について
実施要領について
消費者等への酪農情勢周知について
検査データの携帯電話転送について
WTO及びEPAの特別決議について
消費拡大について

県南支所

市乳事業実績について
十九年度酪農部事業について
消費拡大の取組みについて
飼料価格高騰の対応について
環境配慮について
グリコ株売却について
遊休資産の処分について
流量計について



北海道B&Wシヨウ 中山真介氏が頂点に立つ



五月二十六、
二十七日に開
催された北海
道B&Wシヨ
ウにて、当組
合の中山真介

氏（那須烏山市）がグラントチャ
ンピオンに輝きました。歴史ある
北海道B&Wシヨウにおいて、道
外からの出品が認められているも

のの入賞は極めて難しく、中山氏
の改良の成果に賞賛するところで
す。

七月十九日に宇都宮市「ホテル
ニユーイタヤ」において、栃木県
ホルスタイン改良同志会主催で受
賞祝賀会が催されました。同志会
会長狸塚信夫会長を始め、来賓に
は栃木県畜産振興課長吉沢崇氏、
審査員の中川尚人氏らが出席し、



名号：エスペランサ レブロン レイジー ファースト ダーラムET
生年月日：H12.9.13 父：レーガンエルシダーラムET
繁殖者：エスペランサ ホルスタインオーナーズクラブ
検定成績：乳量11,133kg、F4.0%、P3.2%、SNF8.7%
審査成績：94点



盛大な祝賀会となりました。中山
氏は謝辞の中で「グラントチャン
ピオンを受賞できたのは自分の力
だけではなく、親父の代から乳牛
改良に取り組んできたこと、地域の
方をはじめ改良同志会のメンバー、

市、県のご支援の賜物です。」と述
べられました。

また、地元那須烏山市での受賞
祝賀会の様子は、五ページの東西
南北の宇都宮支所をご覧ください。

全国酪農民代表者緊急集会

七月二日、東京都渋谷区代々木

公園内において全国酪農民代表者
緊急集会が開催されました。政府
間におけるWTO交渉・豪州との
EPA交渉が本格化する中、消費
者及び行政に理解を得るべく、約
千人が集まる大きな集会となりま
した。

牛乳の消費が悪化する一方で、
エタノール生産に使われる穀物の
需要増に伴い、とうもろこしを中
心とした価格の急騰により配合飼
料の価格が上昇し、生産者は苦し
い状況にあることを消費者に訴え、
もう一杯牛乳を飲んでもらえるよ
う、デモ行進、駅周辺でのチラシ

の配布を行いました。

あいにくの天気の中での集会で
はありましたが、諸問題について
大きなアピールとなったようです。



東西南北

那須高原支所

各種団体イベントに参加

『牛乳をPR』

六月二十四日(日)那須塩原市黒磯消防団主催による『第7回くろいそ消防まつり』に出店協力し、消防団員・消費者等に那須だいき牛乳の取扱い販売店の紹介・試飲・販売を行い、牛乳の美味しさ・価値などをPRし消費の拡大運動を行いました。



また、七月八日(日)那須町経済四団体(那須観光協会・那須町商工会・JAなすの・那須町森林組合)主催による『2007那須フェア』が那須高原友愛の森で開催され、酪農とちぎ女性会那須支部(支部長・磯由起子)並びに青年部那須支部(支部長・石川正勝)を中心とする総勢十名で牛乳のPRと消費拡大を目的にこのイベントに

出店し、那須だいき牛乳を試飲販売しました。この日の天気はイベント向きとは言い難いものでしたが、子狐太鼓に始まりその後各団体が企画した催しがなされ、観光客などを含め二千人以上が会場を訪れました。また、フェア出店数も二十店以上で、酪農とちぎテナントでは牛乳の価値を消費者に訴えながら、那須だいき牛乳を味わって頂きました。その甲斐もあり、午後にはほぼ完売することが出来ました。

宇都宮支所

中山真介氏 北海道B&Wシヨウ・ブランドチャンピオン受賞祝賀会開催

平成十九年七月五日、那須烏山市岩子の大金ブランドホテルにおいて那須烏山市酪農組合と那須南地域酪農組合の共催による中山真介氏(那須烏山市小倉)二〇〇七年北海道B&Wシヨウ・ブランドチャンピオン受賞祝賀会が開催されました。



祝賀会には来賓のほか地域酪農組合員並びに関係者合わせて約五十余名が参加し盛大に挙行されました。祝賀会は発起

人代表として那須烏山市酪農組合長の中山茂広氏が「都府県での受賞は愛知県以来で実に三十三年ぶりの快挙である。」との挨拶があり、続いて来賓祝辞として那須烏山市大谷市長、南那須農業振興事務所福田経営普及部長、酪農とちぎ菊池副組合長からそれぞれ祝辞が述べられた後、記念品・花束が贈呈され、受賞された中山真介氏より喜びの感想と「この受賞は私たちが喜びだけでなく県をはじめ地域、同志会などの支援いただいたことからこのような受賞がいただけたと感謝致します。」と挨拶がありました。

二〇一〇年に北海道で開催される全共の前哨戦で、栄誉あるブランドチャンピオンの受賞に對し心からお喜び申し上げますとともに、今後とも乳牛改良に精進されますようお祈り申し上げます。

県南支所

『女性会芳賀支部視察研修』

去る六月二十九日、女性会芳賀支部(支部長 大島知子)は、福島県矢吹町にある全酪連酪農技術研究所を視察しました。「強化」哺育用代用乳として知られている『カーフトップEX』と、標準体系との比較試験説明を始め、新製品である和牛・F1子牛「強化」哺育用『カーフトップEXブラック』の製品説明を受けました。

施設内見学においては、実際に「強化」哺育体系と標準体系で飼養されている牛を前に、全酪連職員の説明を熱心に聞き入り、また質問を投げかけておりました。

さらに牛舎内には、フィステル装着牛以外にも、ディッピング剤開発に向けて、牛体への薬剤感受性試験を行っている個体もあり、「私達の化粧品開発と一緒だわ」と感心されたようでした。



一頭一頭、牛の状態にあわせて細やかな管理や試験の様子等を目にし、有意義な研修を行なっていました。



部課だより

生乳販売課

六年度の生乳生産量は、一八、二二三トン、前年比九九・一％となりました。

支所別生乳生産量をみると、那須高原支所においては前年比九八・〇％、宇都宮支所一〇三・五％、県南支所九八・七％の実績となりました。

また、四月から六月までの累計生乳生産量は四八、六四七トン（前年比九六・一％）となりました。支所別の累計生乳生産量をみると、那須高原支所においては三三、三七一トン（前年比九四・八％）、宇都宮支所六、二六四トン（九九・九％）、県南支所九、〇一七トン（九六・六％）の実績となりました。

六年度、関東においては前年比九六・六％で累計では九五・八

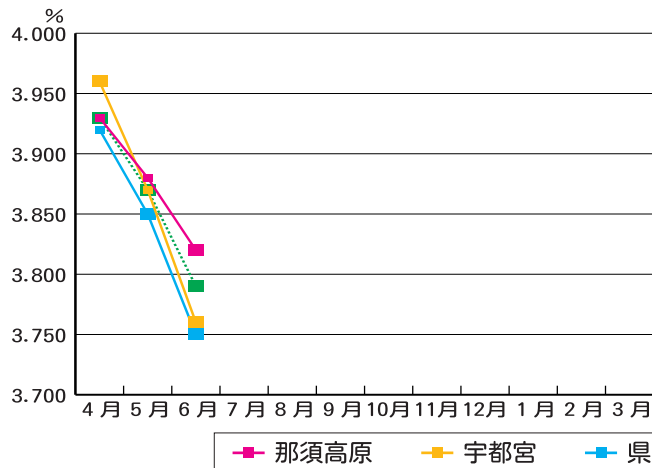
となりました。

関東の六月の特定乳製品向けについては五・一二％（前年五・七六％）と前年より加工率は若干減少しましたが、飲用牛乳向けは三・三％の減、累計においても四・五％の減と飲用需要の低迷が続いております。また、六月のはつ酵乳向けについては前年比九八・〇％（累計一〇〇・八％）となっております。

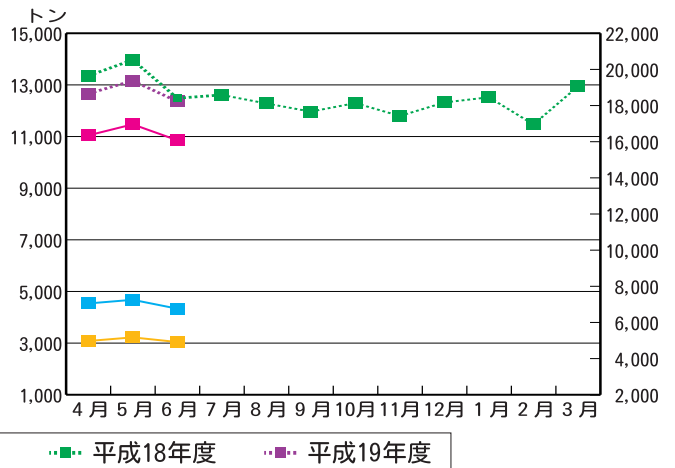
全国の生乳生産量においても六年度（前年比）九七・九％、累計実績では九八・〇％となりました。組合における六年度乳質成績は、脂肪率が三・七九％、無脂固形分率は八・七〇％となりました。細胞数については六月においても前年を下回る一九・七万（前年二〇・四万）の好成绩となりました。六月迄の乳量及び乳質成績は下記のとおりです。

関東においては、飲用需要の停滞等により飲用向け牛乳の減少は

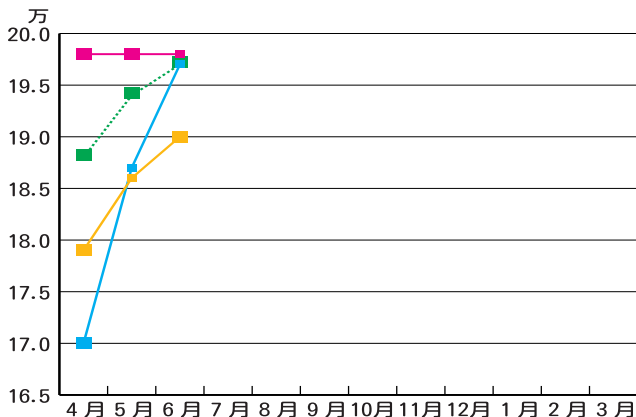
❖ 脂肪率の推移



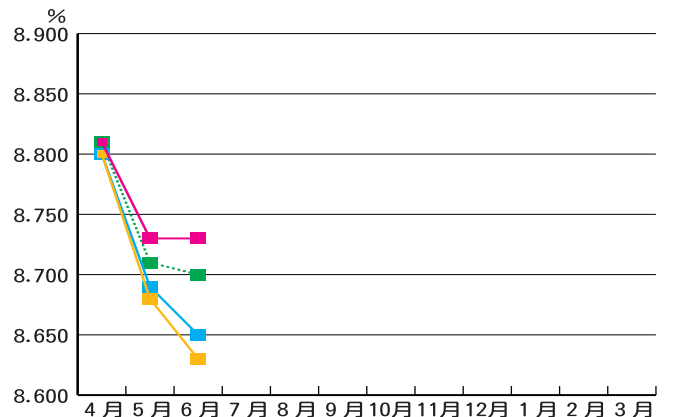
❖ 乳量の推移



❖ 体細胞数の推移



❖ 無脂乳固形分率の推移



あるものの、現下の生産状況、七月以降の需給動向を見据えながら平成十九年度会員に対する月別販売目標数量の見直しを行うこととなり、本組合においても関東生販連の期中見直しに基づき検討して参ります。

組合で期中見直しを進めるにあたり、今後、組合員の皆様に各種調査等をお願いすることになりませんが、ご協力を下さるようお願いいたします。

酪農部

女性会本部通常総会

六月八日、高根沢町元氣あつぷむらにおいて、酪農とちぎ女性会第六回通常総代会（会長 大島知子）が開催されました。

議長に大田原支部の渡辺陽子さんが選任され、執行部より提出された全議案は原案通り承認されま

した。

今年度の女性会の統一テーマは「牛乳を知ろう、広めよう」「チェックシートの記録、保管を徹底しよう」に決定しました。私達生産者が自らの生産物を知り、消費者に安全と安心を届けるために行動を起こす意味が込められています。近日中に、会員の皆様に統一テーマ標語を配布しますので、必ず生乳処理室に掲げて下さい。皆様のご協力をお願い致します。

青年部本部活動

六月四日、酪農とちぎ本所において、酪農とちぎ青年部第六回通常総代会（部長 相馬義樹）が開催されました。議長に芳賀支部の大木宏泰氏が選任され、執行部より提出された全議案は原案通り承認されました。厳しい酪農情勢を乗り切るため、酪農技術向上の研鑽はもちろん、消費者への酪農理解促進活動や、後継者対策事業に

取り組んでまいります。

七月二十六日、西那須野運動公園において親善ソフトボール大会が開催され、天候には恵まれませんでした。熱気のもつた大会となりました。試合結果は、優勝那須Aチーム、準優勝黒磯Bチームでした。部員に皆様大変お疲れ様でした。



7月ホクレン初妊牛市場成績

〔単位：頭、千円（税込）〕

市場名	開催日	成立頭数	平均価格	~400	401~450	451~500	501~550	551以上
十勝	7月5日	548	432	153	257	79	20	39
釧路	7月13日	197	444	18	95	76	3	5
豊富	7月11日	274	415	114	116	32	1	11
根室	7月12日	351	436	63	160	110	7	11
北見	7月4日	250	422	81	119	40	2	8
合計		1,620	430	429	747	337	33	74
前月		1,510	430	381	777	244	40	68
前年同月		1,588	389	979	375	131	32	71

上記金額にはE T妊牛価格を含みます。

家畜市場成績

平成19年7月

〔単位：円（税込）〕

市場名	種別	成立頭数	平均体重	最高	最低	平均
西那須野 15日	ホルス雄	87	58	76,650	1,050	50,069
	F 1 雄	58	54	180,500	31,550	130,417
	F 1 雌	63	51	115,500	8,360	82,568
館林 17日	ホルス雄	8	89	75,000	15,000	58,750
	F 1 雄	27	94	210,000	141,000	177,778
	F 1 雌	27	85	157,000	72,000	114,852



理事会だより

五月度理事会

報告事項

- (一) 資金貸付について
- (二) 五月分生産者支払乳価について

協議事項

- (一) 平成十八年度事業実績について
- (二) 剰余金処分案について
- (三) 四月度事業実績について
- (四) 平成十九年度酪農生産基盤維持対策について
- (五) 栃木県畜産協会理事候補者の推薦について
- (六) 栃木明治牛乳(株)の株式売却について
- (七) 理事・監事選出地域別定数の見直しについて

六月度理事会

報告事項

- (一) 資金貸付について
- (二) 支所別地域説明会結果報告について
- (三) 六月分生産者支払乳価について
- (四) 関連会社(栃木明治牛乳(株))の業務報告について
- (五) 職員人事について

協議事項

- (一) 五月度事業実績について
- (二) 新生酪農(株)からの脱退及び出資金の払い戻しについて
- (三) 夏季手当について

臨時理事会

協議事項

- (一) 建設委員会の設置について
- (二) 宇都宮支所新設の基本設計
- (三) ふれあい牧場休憩直売所の補修工事について
- (四) 栃木県畜産農業協同組合連合会役員改選に伴う理事及び監事の推薦について

お知らせ

那須だいきすき牛乳使用の「ホワイトケーキ」が山崎製パンから新発売!

七月からデイリーヤマザキをはじめ、セブイレブンを中心に栃木、茨城、埼玉の一部量販店で発売を開始致しました。とてもまるやかな味ですので、ぜひお買い求め頂きお店の



女性会活動報告

定番商品になるよう、継続的に購入活動をお願い致します。

今回は、河内南部・下都賀支部(支部長 栗崎澄枝)の活動を報告します。当女性会では、恒例の研修会に加え、昨年度は「牛乳を

知ろう、広めよう」と組合市乳販売課と共に支部役員が牛乳消費拡大運動に取組みました。現在までに計五回(八月「ながわ水遊園、九月「那須ハイランドパーク、十月「栃木県酪農フェア・明保小学校祭り・小山Tマート)実施し、牛乳の試飲やバター作り体験等を行いました。



牛乳の試飲では、「私たちが搾った、おいしい牛乳です。どうぞ」等と多くの方に積極的に声を掛け、なかなかのすずめ上手。「おいしい」「牛乳の甘みを感じる」等の感想や販売店の問い合わせ、「もう一杯」とおかわりに来る子供等、生産者として嬉しい手応えがありました。バター作り体験では、子供達は生クリームの入ったカップを精一杯振り、バターに変化する様子に興味津々。どんなバターが出来たか見せ合ったり、途中で疲れて親の出番となったり、一味違ってくる出来立てのバターをクラッカーにつけて「おいしい」と頬張ったり等々、大変楽しまれた様子でした。

近年の牛乳を巡る状況下から、消費者にもっと牛乳について知って頂き、少しでも消費の拡大に繋がればと願わずにはいられません。今回の活動は、生産者自らが牛乳のおいしさ・栄養や価値などを消費者に伝える、良い機会となりました。